

4 様式第 3 号

会 議 録

会 議 名		第1回あんばい ええまち かわにし創生総合戦略推進会議	
事 務 局 (担当課)		経営改革課	
開 催 日 時		平成 29 年 6 月 20 日(火) 18 時 30 分から 20 時 35 分	
開 催 場 所		川西市役所 4階庁議室	
出 席 者	委 員	新川達郎、藤本真里、国津元司、福元達也、伊藤繁治、山永克彦、 中島智彦、大澤茂男、池田千恵子、加門文男、赤松達也、 志賀俊彦、田中まこ、吉田誠、長谷川克功、加藤さと子、 菅原康雄、本莊重弘	
	そ の 他		
	事 務 局	船曳理事(総合戦略担当)、的場経営改革課長、 稲治経営改革課主査	
傍聴の可否		可	傍聴者数 2 人
傍聴不可・一部不可の 場合は、その理由			
会 議 次 第		1 開会 2 新たな委員の紹介 3 議事 (1)平成28年度あんばい ええまち かわにし創生総合戦略 実施状況報告書(案)について (2)地方創生推進交付金等を活用した事業の実施状況報告 について (3)その他 4 閉会	
会 議 結 課			

## 審議経過

発言者	発言内容等
事務局	<p>ご案内しておりました時間がまいりましたので、「平成 29 年度第 1 回あんばい ええまち かわにし創生総合戦略推進会議」を開会させていただきます。</p> <p>皆様におかれましては、本日はご多忙にもかかわらず、お集まりいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>私は、本日の司会をさせていただきます、川西市総合政策部行政経営室経営改革課の的場でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>まず、お手元にお配りしている資料を確認させていただきます。</p> <p>本日の会議次第、委員名簿、座席表、資料正誤表、角2封筒、あわせて、事前にお手元に送付をさせていただきました資料といたしまして、資料 1、あんばい ええまち かわにし創生総合戦略実施状況報告書(案)、資料2、地方創生推進交付金等を活用した事業の実施状況報告、資料3、あんばい ええまち かわにし創生総合戦略の KPI 実績状況、また、本日、ご持参をお願いしておりました「あんばい ええまち かわにし創生人口ビジョン・総合戦略」の冊子、加えて、新たに委員にご就任いただきました方のお手元には、委嘱状を交付させていただいております。</p> <p>以上の資料は、お揃いでしょうか。</p> <p>さて、本日は、昨年 3 月に策定をしました総合戦略の進行管理ということで、28 年度に取り組みました内容に対する効果検証をお願いするもので、実施状況報告書(案)に掲載しております内容を踏まえ、第三者の立場からご意見をいただきたいと考えております。また、併せまして、昨年同様、交付金活用事業に対する評価についてもお願いしたいと存じます。</p> <p>なお、いただいたご意見をコメントとして整理をし、報告書に掲載をすることとしておりますが、先にご案内をさせていただきましたとおり、会長と文案を調整した上で、委員の皆様には文書送付により確認をいただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>最後に、当会議は、「川西市参画と協働のまちづくり推進条例」第 10 条第 3 項の規定に基づきまして、公開となっておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>では次に、委員のご紹介をさせていただきたいと存じますが、時間の関係もございまして、異動等により新たに委員になられた方のみご紹介させていただきます。</p> <p>兵庫六甲農業協同組合 山永 様でございます。能勢電鉄 株式会社 中島 様でございます。池田泉州銀行 須磨 様でございます。兵庫県阪神北県民局 加藤 様でございます。新たな委員のご紹介は以上でございます。</p> <p>それでは、これよりの議事の進行は、新川会長にお願いいたします。</p> <p>会長よろしくお祈いします。</p>
会長	<p>改めまして、皆さんこんばんは。久方ぶりにお会いする方、また、初めての方もいらっしゃいますが、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それではさっそくですが、あんばい ええまち かわにし創生総合戦略推進会議を行いたいと思います。</p> <p>先ほど事務局よりご案内がありましたように、本日は、総合戦略に掲げるさまざまな施策、それについての平成 28 年度の取組み実績や KPI の動き、良くなって</p>

発言者	発言内容等
事務局	<p>いるところ、良くなっていないところ、実績状況などを踏まえて、今後のこの総合戦略推進について、委員の皆様方から忌憚のないご意見をいただければと考えております。</p> <p>国としても、総合戦略について、さまざまなお立場からの意見をいただいて、軌道修正をしながら、しっかりと成果を上げていくようにというのが、総合戦略の基本的な考え方であると承知しております。</p> <p>ただし、本日の審議予定はご案内のとおりですが、総合戦略全体にわたる部分と直接、交付金をいただいている事業に関する部分とあり、ボリュームが多くなっていますが、あらかじめ事務局からご案内のありましたように、全体を効率よく進めていければと考えております。</p> <p>いつもは会議時間を2時間程度としておりますが、分量も多いので、状況によっては、午後9時くらいまではお時間を頂戴したいと思いますので、ご承知おきいただければと思います。</p> <p>さっそくでございますが、議題の1点目について、あんばんい ええまち かわにし創生総合戦略実施状況報告書(案)について、ご意見を賜ってまいりたいと思います。</p> <p>それでは、事務局より概要説明をお願いします。</p> <p>それでは、議題1「平成28年度あんばんい ええまち かわにし創生総合戦略実施状況報告書(案)」について、お手元の資料1に沿ってご説明させていただきたいと思います。</p> <p>恐れ入りますが、お配りしております正誤表にございますよう、資料の訂正がありますので、資料1の17ページをお開きください、結婚支援のうち、「平成28年度の主な取組内容及び成果」の一行目の最後に、助成件数29件を27件に、また、資料2の2ページの下にございます、「結婚新生活支援助成補助金」のうち、「主な取組内容及び成果」の文中、助成件数29件を27件に修正をお願いいたします。失礼いたしました。</p> <p>それでは、内容に移らせていただきまして、資料1の4ページをお開きください。</p> <p>先ほど、的場が申しあげましたとおり、本日は、総合戦略の進行管理ということで、28年度に取り組みました内容に対する効果検証をお願いするもので、実施状況報告書(案)に掲載しております内容を踏まえ、第三者の立場からご意見をいただきたいと考えております。</p> <p>事前に資料をお配りさせていただき、ご案内させていただいておりましたとおり、時間の都合もございますので、各施策の実施状況等のご説明は省略させていただきますが、資料1の構成について、簡単にご説明させていただきます。</p> <p>まず、資料1では、4つの基本目標、17の施策ごとに平成28年度の各取組の実施状況を記載しております。</p> <p>ご覧いただいております凡例にございますように、具体的な施策の取組状況として、基本目標を達成するために必要な施策とその施策の具体的な展開について記載しております。</p> <p>また、その下の【平成28年度の主な取組内容及び成果】の欄には、具体的施策の展開に向けて平成28年度に取り組んだ内容及び成果を記載しております。</p> <p>KPIいわゆる重要業績評価指標の欄には、施策ごとの指標とその向かうべき方向性、戦略策定時の現状値、計画終了年度における目標値を掲げ、その横に平</p>

発言者	発言内容等
会長	<p>成27年度、28年度の実績値を記載しております。</p> <p>なお、実績値は、平成29年4月時点で把握できている数値を記載しており、数値が未把握の場合は「バー」としております。</p> <p>【今後の課題及び方向性】の欄には、具体的施策の展開にあって、今後求められる課題と方向性を記載しており、○印の横に今後の課題を、その下の⇒で、方向性を記載しております。</p> <p>次に、1ページお戻りいただき、3ページをご覧ください。</p> <p>ただいまご説明いたしましたように施策ごとに実施状況等をまとめておりますが、本日いただきましたご意見等は、基本目標ごとに推進会議のコメントとしてとりまとめ、ご覧いただいておりますページの「あんばんいええまちかわにし創生総合戦略推進会議コメント」欄に記載いたします。</p> <p>なお、資料3はただいまご説明いたしました、総合戦略において掲げております数値目標や重要業績評価指標、いわゆるKPIを一覧に取りまとめたもので参考として、お配りさせていただいております。</p> <p>説明は以上でございます。</p> <p>それでは、内容について、基本目標ごとにご意見を伺いたいと思います。</p> <p>基本目標1「良好な住環境を維持・創出し、住み良さを実感できるまちをめざす」について、「活力ある地域の再生」、「人にやさしい交通体系」、「公共施設マネジメントの強化」、「魅力の創造・発信」、「安全安心のまちづくり」、「住環境の整備」の項目が上がっています。それぞれの実施状況を踏まえ、ご意見いただければと存じます。</p>
委員	<p>単純な質問ですが、方向性の矢印はどのように見たら良いのか。例えば、P6の「住み良いまちだ」と思う市民の割合という幸せ実感指標は上矢印となっているがどうか。</p>
事務局	<p>指標の方向性は、基準値からどのようにめざしていきたいかという方向性を示しており、幸せ実感指標で申しあげますと、「住み良いまちだ」と思う市民の割合で、現状値として 85.2%を計画終了年度の目標値として 86.0%までに上げていきたいというものです。</p> <p>ちなみに、上の指標「社会移動数転入・転出の均衡」の横バーは現状値を維持するというものです。</p>
委員	<p>全般的にもあるが、KPIのうち市民へのアンケートにより聞いているもの、例えばP15の「ごみ収集・処分に対する満足度」など、著しく下がっているものが全般的に見受けられるが、そもそも声を集める段階でなにかバイアスがかかっているようなことはありませんか。</p>
事務局	<p>市民実感調査によって指標の数値をとっているもので、16歳以上の方、毎年1,000人を無作為抽出でアンケートを行っておりますので、特段のバイアスがかかっているものではありません。</p>
委員	<p>P15の「ごみ収集・処分に対する満足度」の部分について、現状値に対して、実績値 69.8%と、大きく下がっている。</p> <p>この施策の中で、なぜKPIとして、「ごみ収集・処分に対する満足度」を掲げているのか。また、今後の課題と方向性に「ごみ収集・処分に対する満足度」に関連するような記述がないように思うが、考え方を教えていただきたい。</p> <p>「ごみ収集・処分に対する満足度」がH26～H27では7.2ポイント、H27～H28では10.8ポイント、2年で合計18ポイント大きく下がっています。大きな要因とし</p>

発言者	発言内容等
	<p>では、H28年度から大型ごみの有料化があります。H27年度から大型ごみの有料化への周知を行っており、H27年度から満足度が下がってきている要因として考えている。</p>
委員	<p>KPIとして使っているのは、ゴミの有料化をすることで減量化を図ろうということがあるから、今後の課題と方向性のところの、施策の展開の中には出てこないという理解でよいか。</p>
事務局	<p>ゴミ有料化が目的ではなく、減量化が目的となっているため、減量化に関する施策の展開として、啓発、広報を記載しています。</p>
委員	<p>P9公共施設マネジメントの強化について、目標値が現状値よりも減らす方向性ということですが、かなりの平米数を減らすことになってはいますが、展開記述の中では見えてこないため、教えてもらいたい。</p>
会長	<p>公共施設マネジメントのところ、具体的な方向性の中身について、少しかいつまんで説明していただきたいのですが、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>公共施設総合管理計画につきましては、将来のことを考えて、ある程度の公共施設は残していく必要があるが、今ある公共施設の老朽化等も問題となっている。これに対して市の財政の面も考慮しながら、実際に市民の方が必要なものを精査し、本当に残さないとダメなものを残していく。それを一定精査していくと約20%の削減が必要であるということで、40年間の長期にわたり計画している。具体的に何を減らしていくかは今後、個別施設計画の中で検討していくことになる。</p>
委員	<p>公共施設マネジメントの強化について、延べ床面積で減らすということだが、公共施設の再配置という考え方では減らすという考え方は必ずあると思うが、それだけかなと感じている。総合戦略の計画を見ると、「指標については、同計画の策定に併せて設定する予定です」とあるので、減らすだけではなく質的な評価をするような項目が増えるのかなという感じがしたのですが。管理計画は昨年11月に策定され、その後、追加する質的なKPIはなかったのかなと思うのですが。</p>
事務局	<p>総合管理計画については、総論となるため、公共施設を減らすだけではなく、質も高めていく、かつ、市民の方が利用しやすい公共施設にしていく、例えば、点在する施設を複合化して、市民の方がより利用しやすいようにしていくということも含まれますので、今後この個別計画の中で、きちっと作っていく形になる。</p>
委員	<p>P6数値目標のうち「社会移動数転入・転出の均衡」、「居住地域に住み続けたい」と思う市民の割合が下がっていることに対し、どういった施策がここに影響しているといったことがあれば教えてもらいたい。</p>
会長	<p>なかなか原因の特定は難しいかもしれませんが、事務局からなにかあれば。</p>
委員	<p>大きな要因があったのか、施策によることかよらないものなのか、物理的なことによるものなのかを教えてもらいたい。</p>
事務局	<p>「社会移動数転入・転出の均衡」につきましては、どういった要因か掴めていない状況です。転入・転出先の状況を見ると、総合戦略策定時と変わらず、近隣の宝塚、伊丹への転入・転出が多く、県外では大阪市への転出が見受けられる。こちらでは均衡を目標として掲げているが、転入・転出に対する施策を検討し、展開していく必要があると考えています。</p>
会長	<p>「居住地域に住み続けたい」につきましても、これらと連動して、一定、下がってきている要因を考えながら、今後、施策を検討していく必要があると考えている。</p>
委員	<p>市としてもよくわからないが、頑張っってやらないといけないことだと思います。P10、11について、基本目標1では「住み良さを実感」となっているが、この施</p>

発言者	発言内容等
<p>会長 事務局</p>	<p>策は KPI の設定から見て、観光、特に交流人口の増加を掲げているところだと思ったのですが、数値として、実績値として記載されているものが、どこで観光客入込数を数えているのか、交流人口と実際に市民の方とおそらくあわせた数値になっていると思うが、いったいどれくらい実際に川西の外から、川西市に訪れた方なのかをどのように把握しようとされているのか。</p> <p>また、例えば、具体的施策の展開についても、クリック数や再生回数が多いのか、少ないのか。とにかく入込数とアクセス件数だけなので、どうリンクしていった、これがうまくいっているのかどうかを判断しているのか。さくらマップを発行しているが、実際に、結果として、さくらを見に来られた方が増えていけば、マップを作成したことの効果がわかると思うが、折角、マップを作っても人数がトータルでしかわからないとなると、なにが功を奏しているのかわからないのはもったいないと思う。</p> <p>たとえば、ダリヤ園の測量を実施したら観光客が増えるのか。それがわかりづらいため、説明いただきたい。</p> <p>その辺りの要因を説明いただければと思います。</p> <p>KPI観光客入込数の根拠については、毎月ごとに兵庫県に報告している数値の年間の積み上げです。以前から、妙見山やダリヤ園、多田神社といったいくつかの観光スポットを設定しまとめたものです。</p> <p>この数字の中で、市内外の別は把握できておらず、今後の課題であると考えている。</p> <p>パンフレットの効果についても、観光施策の将来に使えるカウント方法を研究していきたい。</p>
<p>委員 事務局 会長</p>	<p>観光ポイントに黒川地区は入っていますか。</p> <p>入ります。</p> <p>それでは次に、基本目標2「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」に移りたいと思います。こちらでは、「結婚支援」、「出産支援」、「子ども・子育て支援」、「教育環境の充実」、「女性が働きやすい環境づくり」といったそれぞれの施策を展開しています。</p> <p>それでは、基本目標2について、各施策について、各委員からご質問、ご意見をいただければと思います。もちろん、基本目標1で言い残したことがあれば、言っていただいて結構です。</p>
<p>委員</p> <p>会長 事務局</p>	<p>教育・子育てのところの満足度が低いように思う。施策としては体験学習の充実に力点を置いているように感じるが、P21 教育環境の充実にある「満足いく教育を受けられる環境が整っていると感じる市民の割合」が 58%とかなり落ち込んでいる。この満足いかない点はこういったところなのか、市では把握しているか。施設面で不満があるのか、教職員と親の連携やネットワーク、教育システムへの不満なのか、教育制度の面での不満なのかなど、こういったあたりに不満があるのか把握されているのか。今後、市の活性化の面でも、教育が一番重要なところであると思いますので、その辺りの考えをお聞かせいただきたい。</p> <p>教育満足度の低さについて、こういった要因があるのかといったご質問です。</p> <p>教育環境の捉え方はさまざまであると考えております。どの側面で満足度が下がっているのかというところまでは分析はできておりませんというか難しいと思っております。</p> <p>28 年度におきまして、マイナス要因、マイナスの印象と言いますか、マイナスの要因として考えられますのは、一つは、学校が小規模化していく中で、統合してい</p>

発言者	発言内容等
委員	<p>こうというような見解を示しております。また、小規模化している幼稚園を廃園していく動きがありますので、その辺りが影響しているのかなと考えております。</p> <p>今後につきましては、さまざまな施策がありますが、よいと思われる施策を色々な方面から展開していくことを継続していくことが必要であると思っております。</p> <p>今のところでもう少しお聞かせ願いたいのですが、「子育て支援が充実している」と思う市民の割合について、KPI値が50%の目標に対して、現状 28%、平成31年度に50%にしたいとなっているわけですが、具体的には約2倍の市民に対して、拡充していかなければならないが、課題や方向性を読んでも具体的に2倍になる理由が見当たらない。その点、具体的な 50%まで持っていく施策をご教示願うか、この 50%がそもそもおかしいのかをご教示いただきたい。</p>
事務局	<p>子育て支援の充実について、50%という目標値を掲げさせておりますが、H26の現状値 29.7%およそ 30%という状況でございました、ここから増やしていくということですが、目標といたしましては、二人に一人、半分程度の人が充実していると感じていただけたところを目標として掲げたと考えております。</p> <p>実績値で申しあげますが、現状値で言いますと 29.7%から多少の増減を繰り返して、30%程度のかたちで推移しているところでございます。子育て支援が充実していると感じていただけることについては、なかなかいろいろな要素があり難しいことだとは思いますが、ここに書いてある事柄も含め、市としては、子ども・子育てに係る計画を別途作っておりますので、そちらの方では子ども・子育てに関するさまざまな施策を充実していこうと考えております。そこら辺の施策を総合的に進めることによって、この数値を上げていきたいと考えているところでございます。ご覧いただいているところを書いてございます部分につきましては、代表例としてお考えいただきたいと考えております。</p>
委員	<p>17 ページの結婚支援のところについて、県も地域創生ということで、人口対策・地域の元気作りということに一生懸命取り組んでいる所ですけれど、市さんも主体的に取り組んで下さっている。そして私達も協力しながら更にこの圏域が良くなるように進めているところです。今回のこの事業例を見せていただいたときに、県民局と一緒にという表現もたくさん見せていただいたなと思ってうれしく思っています。</p> <p>この結婚支援のところ、丸の2番目のところ、少し婚活イベントとかを支援しているという内容にしたら少し弱いのかなと思うんですね。ご存知のように県では出会いサポートセンターという公的な結婚支援を行っているんですね。でも安い加入料で1年間お見合いをしていただくという制度ですが、今後の課題や方向性のところにそういった出会いサポートセンターの周知とか啓発なんかも市の中のホームページとかに貼り付けていただくと、市民の方の目に留まってそういう人達が増えて行くということで、効果的には大きいんじゃないかなと思うのですが、そういうことも含めていかがでしょうか。</p>
事務局	<p>本市で結婚新生活支援助成制度を行い、結婚の支援をいろいろ行っているところです。ご質問いただいたように、ご案内いただいた、県民局のサポートセンターと連携をしています。こちらに書かれてはいませんが、実は“かわにしお結びの部屋”というサイトを4月から立ち上げまして、そちらで出会いサポートセンターのリンクを貼らせていただいています。また、能勢電鉄さんとの連携では既にやっておられる婚活イベント『恋日記』の PR、ライオンズクラブさんのイベントの PR、そういった事業者さんがいれば、本市でも PR していこうということで、今申し上げたよう</p>

発言者	発言内容等
委員	<p>なホームページを立ち上げて PR をしているところです。この中ではもちろん結婚新生活支援助成制度について、案内をしている状況です。</p> <p>戻って申し訳ないが、子育ての件で、市民の満足度がかなり低い、その次の 21 ページで『学校に行くことが楽しい』という小学生はかなり高い。ということは、子育ての支援を上手くやれば、留まって学校に行けば満足感があるとなれば、川西からの流出が止められるのではないかと思う。ここをもう少し強くやっていただいたら、学校に関しては満足している。中学と小学を合わせて 85% というのはかなり高いと思う。28 年度は数字が出ていないが、これはまだまとまっていないということなのではないでしょうか。</p> <p>(教育)環境が整っているというのが、27 年度は 74.8% だったものが、58% に落ちている。これは何か原因があるのでしょうか。</p>
事務局	<p>まず「学校に行くことが楽しいと思う子どもの割合」についてですが、28 年度は調査しておりません。</p> <p>教育環境の満足度を高めていくことについてですが、例えば先ほど申しました学校の統合につきましては、統合の理由が集団教育ですので、一定の集団規模を確保してよりよい教育を提供しようというような趣旨で進めているものでございますので、そこはしっかり説明をしていきたいと思っております。</p> <p>また、大きな事業としては長年の懸案でありました、小中学校・幼稚園等の空調設備が今年度の夏休みに全て整備できるようなことですか、学校給食につきましても検討が前向きに進んできたところで、大きな事業も進んでおりますので、そういったところと日々の学校教育についてはしっかりと取り組んでいきたいと思っております。</p>
委員	<p>19 ページの子ども・子育て支援のところの保育施設の整備・拡充ということで、保育定員が 119 人増やせたと書いてあります。その結果を踏まえての入所待機児童の数の推移かなとは思いますが、27 年度 58 人が、保育定員を 119 人増やした結果として入所待機児童が 32 人減ったというふうな解釈でよろしいですか。</p> <p>もう一つ、21 ページの中学校給食の実施に向けての検討ということが 28 年度の実組内容として書かれています。今後の課題としても中学校給食の実施に向けた検討と、引き続き“検討”となっております。これは他の自治体さんでもけっこう実施を実現させているところが増えてきているように思いますので、もう少し検討に具体性を持たせて行程を考えて何年度までには必ず実施するというくらいのことをしてもいいのかなという意見です。</p> <p>ICT 活用の促進ということで、小中学校にタブレットを全面的に導入するような思い切った施策をやってらっしゃる自治体が増えてきていますので、この研修の中身を教えていただきたいです。今後 ICT の整備をどういう方向で考えておられるのかということ伺いながら、やはり ICT 活用に関しては、近隣自治体の整備状況というのを見ながら、そこにむしろ先んじるぐらいのアクションを起こしていくことが、満足いく教育を受けられるというところにつながっていくと思います。</p> <p>本学は、保育士・教育者の養成に携わって、いろいろそういう方法も研究したり先生方とも議論したりしていますので、そういったことをご協力できればと思っています。その辺のビジョンについてもまた合わせてお話しいただければと思います。</p>
事務局	<p>最初のご質問の待機児童に関して、定員増 119 人というのは 28 年 4 月と 29 年 4 月を比べまして 119 人増加をさせていただいた数字です。ちなみに 29 年 4</p>

発言者	発言内容等
事務局	<p>月の待機児童について、国のカウントの仕方が変わったということもあり、39 人でございます。ただ、昨年と同様のカウントの仕方をすると約 26 人ですので、実質的には減少している傾向にあります。</p> <p>ただ、待機児童につきましては、目標値 0 人ということで掲げておりますので、これを早期に達成していくことが非常に重要な課題だと考えております。今年度も待機児童解消に至っておりませんので、さらになんらかの対策の検討をすすめているところでございます。</p>
委員	<p>ICT の活用につきましては、本市におきましても積極的に導入を進めている最中でございます。特に、授業等で、教師だけでなく子どもが直接表現できるようにタブレットの導入についても検討を進めている状況です。ご存知のように新学習指導要領では、対話を通じて、学ぶ部分で ICT が有効であるということは研究で示されておりますので、今後はさらに、委員がおっしゃった部分につきまして進めていけるようにいきたいと思っております。</p>
事務局	<p>ものすごく実践事例が出てきているので、競争でどんどん導入して行っていますので、ぜひ推進していただきたいと思っております。</p>
事務局	<p>給食につきましては、センター方式で検討を始めたところですが、これまではセンターを建てる候補地がなかったのですが、今回候補地が出てきたので、センター方式ですと全校一斉に導入できるので、今年度、候補地でもって、どういうスケジュールで進めることができるかという可能性調査を実施する予定です。</p>
委員	<p>2 点あります。1つは未婚率について、これは単純に 20 歳～29 歳で川西に在住している人が結婚しているか、していないかで比率を出しているのか。例えば住んでいたが、結婚してどこかへ出ていくと、この数字には入っていないのか、そういうきわどい所はどうなのですか。あまりにも 83.8%ということは、100 人いれば 17 人くらいしか結婚していないということなのですが、その辺りのことをお聞きしたいです。</p> <p>もう1つは、先ほどの教育環境の充実の話の中で、「満足のいく教育を受けられる環境が整っている」を良しとしている人は、何を評価して良しとしているのかという細かなデータはありますか。この中には給食など周辺の話は出ていますが、現実の問題としては、やはり学力の向上のプログラムをどう行っているのかということが保護者や地域にとって非常に大事な話だと思うんですが、その辺りが明記されていないので、そのあたりは関連性があるのかどうかということと、この指標に対して、こういったことを保護者が問うているのかどうかをできればお答えいただきたいです。</p>
事務局	<p>未婚率の定義としまして、20～29 歳男女で川西市に国勢調査の時点でお住まいの方の婚姻率を出しております。全体というわけではございません。こちらの最新データは、まだ出ていない状況です。</p>
事務局	<p>2 点目ですが、ここに書いてある文言どおり、いろんなことを含んだ状態でのこととなっており、先ほどの空調整備・小学校統合といったものを含めて、学力面については、学力向上プランということで全国学力調査などをもとにして、学校に行くことが楽しいという分につきまして上向きになっているということをお大切に、小中・特別支援学校に、今、学校に行きにくい子が増えている状況の中で本市においては、学校に行くのが楽しいという子どもの割合が非常に高い数値を得ているということをお大切に更に環境を整えていくなかで、本市の教育施策を進めていきたいと考えています。</p>

発言者	発言内容等
会長	<p>どこに満足しておられるかというのは、きっちりわからないところがあるとは思いますが。</p> <p>それでは、基本目標3に移りたいと思います。</p> <p>基本目標3は、「地域のきずなを深め多世代交流を促進する」です。その中で、施策といたしまして「健康づくりの推進」「自主的な地域づくり」「つながり支え合うまちづくり」ということで進めてきていただいております。この項目についてご意見・ご質問をいただければと思います。</p> <p>目標1、2に関連したのもございますし、思いついたことがありましたら戻っていただければと思いますが、まずは基本目標3について、ご意見・ご質問いただければと思います。</p>
委員	<p>レッツきんたくん健幸体操は、本校の短期大学の先生が開発したもので、今でもお世話になっているのですが、いくつかあります。</p> <p>これはシニアの方々の健康向上、未病ということでお伺いしていましたので、この切り口が多世代交流の促進という認識がなかった中、このきんたくん健幸体操をされている方々はどのような方々でしょうか。とか、多世代交流ということで、幼稚園・小学校の活用もいかがでしょうかという、体操をする習慣を作るということがとても大切であるというご意見を差し上げているが、その部分を含めてどのように活用されているのかをお伺いしたいです。</p> <p>また一方で、実績値が若干ですが下がっていく中、シンポジウムをしたり、指導員を増やしている中、何故下がっているのかも伺いしたいです。</p>
事務局	<p>おっしゃるとおり、共同できんたくん健幸体操を作っていただき、広めております。その中では、体操自体は、リーダーをつくり各地域の要請に応じて派遣させていただいております。子どもさんの運動会にもこちらから出向きまして、始まる前に準備運動として行っております。ここにもありますように日を決めて総合体育館・公民館でも行っております。総合体育館でしたら 80～90 人の方に来ていただいて、一緒に体操しております。既に子どもさんから高齢者と幅広く参加していただいております。ここにありますように 1074 人来て頂いております。</p> <p>実績について、これだけやっているのに下がっているということですが、このアンケートの中で、実際取り組んでいるという方と、どちらかという方と取り組んでいるという方を足した数字で、ある程度あいまいとかそういう中で70%となっております。担当としてはマイレージとか健幸体操をやって実際上がっていると思っていたのですが、残念ながら結果的にこういう推移になっています。</p> <p>目標ももともと70%ありましたので 83%という高い目標を掲げていますので、それに近づくようにやっていきたいと考えております。</p>
委員	<p>川西市は、コミュニティに対しては先進的な事業をされていると思います。その一つに、いち早くコミュニティに対する一括交付金という制度をなされました。その結果として、私は自治会の活動が活発やという意識を持っていましたし、ボランティアでされている方も多という意識を持っていたのですが、24 ページを見ますと、コミュニティ活動に参加している市民の割合が減っているし、ボランティアやNPO などの活動に参加している市民の割合もとても減っている感じがするんですが、また、26 ページを見ると、お互いに支え合っていると思う市民の割合なんかも減っているのですが、これは何が原因として捉えられているのでしょうか。</p>
事務局	<p>やはり現在、人々の生活の中で全てが便利になってきていると。それぞれの価値観の多様化ということで、今まで隣近所でいろいろ話をされていたことが、特に</p>

発言者	発言内容等
委員	<p>最近はなくなってきているのかなと。</p> <p>情報についても、昔は自治会に入っていて、回覧で得ていたものが、今はネットで情報がとれます。いろいろアンケートをとっていると、自治会活動、ボランティア、NPO 活動に参加する場合、時間的な余裕がないというふうなこととか、わずらわしいという意見があります。人々の考え方、地域貢献ではないですけども、地域によって地域も満たされる、自分の心も満たされるというような考え方が時代の流れで変わってきているのかなと思っております。それが原因になっているのかなと思っております。</p> <p>私は今、コミュニティの会長をしています、やはり高齢化が言われます。役員になる方がそのままずっと上がって行って、今平均 70 歳前後です。定年延長で 65 歳まで現役でおられるとなかなかやれない。そうすると、年寄りが頑張るしかないですね。いまおっしゃったようにコミュニティに交付金で入ってきて自由にやれるようになって良くなっているのですが、今度はコミュニティが強くなればなるほど自治会から抜けていく。というのは、自治会は会費を払わないといけない、役をやらないといけない、それなら抜けようかとなります。</p> <p>現実を申し上げますと、この北陵地区は、一自治会の一コミュニティの形をとっているものですから、コミュニティが強くなれば自治会を抜けるのがはっきりしてくるわけです。</p> <p>それでできるだけ自治会を盛り立てるようにしていますが、やはり3月になって4月になる班長が決まる頃になると、1人抜けると目立つからその班は全部抜けるということになるんです。そういう現状がうちだけでなく、他もそういうことがあるのではないかと思います。これからどんどん自治会は減っていくと思います。</p> <p>この41%なんて不可能に近いと思います。それを我々がどうするかということでも今苦慮しているんですけど。それが、皆が集まれるなにか催しをしながら少しでも世代交流をしていって、40代50代の方に入っていただけであれば一番活気づくのですが、会社においては重要な年齢なので、なかなかこっちに向けてはくれませんね。</p> <p>こんな言い方したら失礼ですが、やはり災害が起こらないとつながりがない。自主防災でもそうですが、避難訓練するといっても年寄りばかりで若い方はほとんど出てこれません。やはり向こう三軒両隣、この六軒が繋がれば次につながるということで、これから北陵では自主防災関係を六軒でつなげていけば全部つながるだろうということでやっています。そうすると自治会はいらないとかなってしまうので。</p> <p>やはり自治会に入るのに、まず出てくる質問が『自治会に入って何が得なんですか』というところから始まるんです。得は無いんですよ、自分の生活環境を良くするために自治会があるということを言っても、なかなかいかない。これからどんどん減っていきます。もうひとつはPTAです。任意参加だから自治会と一緒にです。そういうことも心配があります。</p> <p>やはり自治会に入って何かメリットがあるということ、できるだけしていきたい。そのためには、ゴミの袋を市指定にして自治会なら安く買えますよとか、そういうことをやっていくしかないですよ。そうすればもう少しこっちを向いてくれると思います。</p>
会長	<p>本来は、自治会というのはコミュニティを支える重要な担い手なんです、その足元が弱ってきている。それを逆にコミュニティと一緒に強めるような方策</p>

発言者	発言内容等
委員	<p>をぜひ考えてほしいということであろうと思います。 事務局で検討いただければと思います。 その他いかがでしょうか。 27 ページについてですが、施策というのは、付け足したり何かはできない前提でこのまま行くんですね。</p>
会長	<p>もちろん総合戦略をより効果的に目標を達成していくためにどんどん変えていく分にはかまわないと思いますが。</p>
委員	<p>何を聞きたいか先に言います。 認知症カフェの数やサポーターの数となっているんですが、そもそも認知症にならないというか、シニアの方がいきいきと活動できる場所という観点があると、そこで元気なシニアの方が生きがいがあって集えるような。具体的に言うと、以前にもお話ししたと思いますが、空き家の活用で、地域の方々がカフェをやってますというような居場所が、支えるということではなく、居場所を自分で作るということがあるのと、公共施設マネジメントの目標値にあったように、施設の数減らしますといったところにも、本当は子どもやシニアの方に居場所があるとかってストーリーがあつての施設だったらいいなと思っていましたね。 だけどいきなりここで『認知症カフェ』って言われてしまうと、それより前のことってないのかなって気になりました。それがすぐできるとは思いませんが。最初の施設の活用の仕方とか住みやすいというところの全てと共通して一歩前に出たところがあると思います。</p>
事務局	<p>『認知症カフェ』というものが、既に認知症になってからというような状況でというようなご質問だったと思いますが、実際のところKPIとしてこのようにどういう状況かというのを目に見えてわかるようにという観点からいうと、この指標にせざるを得なかったという部分がございます。</p>
(会長離席)	<p>もちろんご指摘いただいているような、認知症にならないようにとかそれになる前につながり・支え合うということができる場所とか、そういうことをもちろんその中で一緒に考えていくということでこの施策を掲げております。</p>
副会長	<p>それでは、基本目標4「新たな雇用とまちの賑わいの創出をめざす」に行かせていただいでよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>P30の新たな仕事と雇用の創出ですが、女性の就業率のところとの兼ね合いも含めてですが、起業塾はいいと思いますよ。実際に起業された方はいるのかということを知りたいのと、一方で、起業するというのは、実際敷居が高く、どれくらいの規模のものを思っておられますかというのが質問です。なぜなら、今、生業と言われる言葉で、OLしながら、週末だけカフェするとか自分が作っているものをネット売りますといった、もっと小さなビジネスで、お小遣いを稼いだりとか、そこから自信を持って小さなお店を持ちますとか、喫茶店のワンコーナーで、物を置かせてもらって、売りますみたいなことをやっている人たち多いんですね、20代、30代で。そんな雰囲気がこの30ページからは見受けられなかったんで、起業っていうよりはフリーマーケットであるとか、各お店と連動して、そういうものを置ける場所をつくるとか、もしかしたらあるかもしれませんが、もう少し敷居が低くって、もう一つ女性が家にこもってできますよというのは昔っぽくて、もう少し趣味の延長線上で、皆さん稼いだり、人とコミュニケーションをとったり、そのコミュニケーションが楽しくて、外から人とかが集ってきたりするので。なにかそういう連動したところで検討いただけるとたのしいかと。もっと小さいことからできますよって。それが週末のイベ</p>

発言者	発言内容等
<p>会長 事務局</p>	<p>ントであったり、というようなところでされた方が、起業というところでは結構しんどい のでは。</p> <p>フリーマーケットとか結構、流行ってますもんね。</p> <p>P30 のところで、起業塾を実施しまして、23 名の方に参加いただき、その中で、 既に1名の方が起業され、業種はデザイナー事務所を開設されました。それに続 き、あと2人も起業の準備中であると聞いています。</p> <p>この起業塾の方は、どちらかと言えば、きちんと事業所を立ち上げるというイメ ージで、お金を借りたり、会社組織になるとか、ここら辺のことを学んでいただくよう な起業塾のスタイルでやってまいりました。一方で、委員のおっしゃったように、も う少し気軽に、趣味の延長のような形でできればということがありました。同じP3 0 の具体的施策の展開③のところ、クラウドソーシング、在宅就業のことについ ても、そこら辺の広がりもあり、実際、インターネット上の記事を書くようなライティ ング仕事も数多く手掛けられている状況まで来ています。</p> <p>今後でございますけれども、今申しあげたようなきちとした事業所スタイルのも の、在宅就業以外の部分も考えていく部分かとは思っております。フリーマーケッ ト以上で起業との間くらいで、考えられますのが、川西能勢口駅前の市有地を、イ ベント広場として活用することを始めております。そういう中で、そういう方々にお 店を出していただくこともイベントとしては考えられるかと思っておりますので、そう いった機会、いろんな機会をとらまえて、そういうことが結びつくような方向性を模 索していきたいと考えております。</p>
<p>委員</p>	<p>個々の施策というわけではないが、全体を見渡してくるとそれぞれ課題があっ て、なかなかハードルの高いものもたくさんある。非常にフルメニューで地域活性 化・再生に取り組んでいるが、今後自治体というのが、住民サービスを維持してい くために、生き残っていくために考えると、一部で、例えば、姫路市なんかが中心 にやっているような、自治体連携、それぞれの役割を分担していくような、可能性 みないなことも、厳しい数字がでていることから、そんな可能性を追求してみよう というお考えはないのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>具体的に検討してるかということになると、今のところできていないところでござ います。これは総合戦略という形でございますが、一方、総合計画という市の計画 がござい。現在、前期 5 年間が終わり、新たな後期基本計画の策定に向け て、その中でも当然、課題として地域連携による行政サービスの分担も含めてや っていかなくてはいけないようなことは考えていくことはございます。その中 で、それを受けながら、総合戦略で人口減少などの施策として展開していくとい うことがあれば、その中で吸収していきたい。</p> <p>また、地方創生の国の交付金というレベルでいいますと、単独と広域連携の事 業の区分がござい。そういう意味では、川西市は広域で連携しながら地方 創生を進めていくことは現状としてはできておりません。</p> <p>現実的には県と、お金の面ではどうこうといったことではないですが、政策連携 を図りながら、県の制度を活用させていただきながら、そういう面では広域という部 分はござい。地域地域でどこかで特徴的なものを組み合わせて展開するとい ったことはできておりません。</p>
<p>委員</p>	<p>兵庫県の方に思い切って、リードしてもらいたい。</p> <p>広域連携といったことを視野に入れていかないと、人口がV字回復していくこ とは非常に難関であると考えます。今回はこういったプログラムでやっているわけで</p>

発言者	発言内容等
<p>会長 委員</p>	<p>すが、今後、こういった発想を持っていかないといけないと感じます。        思い切って発想を変えてという、ご意見をいただきました。        P32 産業の活性化について、商工会から出ているので、直近で小規模事業者の状態を見ていると、非常に厳しい。廃業がすごく多く、創業起業が少ない中で、目標値が上を向いているように見えるが、今ここに書かれている内容だけでは、到底逆に落ちていくというよう可能性が非常に高いと感じる。そのために、もう少し手を打たないと、市内の小規模な小売店はもっと減るのではないかと思う。かといって、どうすればいいかという、難しい問題で、悩むところではあるが、もう少し手立てがあればと思う。例えば、創業でも、若い創業ではなくシルバー世代の創業を促進するような、空き店舗を有利な条件で創業支援するというようなことも考えていかないといけないと感じます。</p>
<p>会長 事務局</p>	<p>創業の方向、あり方などについてのご意見でした。        現在の経済状況は、バブル期を越えて長い期間良くなっているという報道があったものの、なかなか実感されないところだと思っています。委員のご指摘のように、お店の廃業などが多々あるという状況です。どうしていけばよいのかというところは、難しく、特効薬もなく、商工会さんと協力しながら、どのような手を打っていけばいいかを協議していければよいと思っています。        また、行政が行っている支援の事例として、P30 の具体的施策の展開のところに、提案公募型地域経済活性化事業補助制度があり、幾つかメニューがありますが、空き店舗を使って、新たに店を出そうという人に対する補助とか、商店会が空き店舗に入ってくれる人を探すとかに対する補助など、県と協調して補助する制度を用意しており、28年度で1件、妊婦さんなどを対象としたマタニティ整体が空き店舗を使って入られたという実績があります。</p>
<p>委員</p>	<p>わずか1件なので全体に対してどれほどの影響があるのかということはありませんが、これも含め、多面的な取組みを展開できればと考えています。        一通り伺って、川西市らしい特徴的な取組みはなんでしょうかと聞きたい。あんなばいええまちということで、それぞれいい感じですが、川西市にこういう特徴があるから住んでみたら、遊びに行ってみたらとすすめるとしたら、川西市はなんでしょう。</p>
<p>事務局</p>	<p>ご意見いただきましたようにさまざまな施策に取り組み、あんなばいええように、市民の方へ充実した生活を送ってもらえるように施策を展開しているところです。川西市で具体的にどうだといったところでは、魅力の創造発信といった部分で、川西市ってこんないいところがあるよ、こういったことをやっているよ、親元近居助成制度があるといったところがありますが、実は知られていないことが多くありますので、市内外に発信しているところが特に頑張っているところであると考えております。</p>
<p>委員</p>	<p>川西市は戸建て住宅の団地として出発しているということが大きな特徴であります。昭和40、50年代に多くの方が移り住まれて、現在の基礎があります。大きな問題は、戸建て住宅と借家の間の住宅の数が少ないため、なかなか人口が回らない。その当時、入られた方が、今もご存命で住まれています。若い層の方がいっても、住むことのできる住宅の数は決まっていますので、その中の人口が4人世帯から3人世帯、2人世帯、1人世帯といった形で、人口密度が下がっている状況があり、今、ほぼピークになりつつあります。        ショッピングセンター、地区センターの市場経済が成り立たず、小売りが撤退し</p>

発言者	発言内容等
	<p>ていく状況があります。川西市で小売りが衰退しているというのは、人口密度が低くなって、商業的な圧力が減っているという中で、小売りで世帯を背負ってやっていくということが難しい状況になっていると思います。</p> <p>現在は、空き家は大量に発生しているわけではないが、もう5年、10年すると、空き家だけが残って行く状況が生じること考えられる。どのように若い世代に空き家に移していくのが大きな課題であると考えています。</p> <p>ただ、旧の器が耐震性能がない住宅となっているところがあり、そのままリフォームして活用するわけにはいかないという問題があります。そこを促進するのであれば、出来る限り、流通しやすい空地にもって行って、売っていくというのが筋ですが、これも今住んでおられる方の更新があつてのことですので、今、すぐに何かやるといったことは難しい状況です。</p> <p>また、商業については、どこか商業者に来てほしいとか、一般の商業活動の中でなんとかしてほしいという要望が強いが、団地の利便性を考えた場合、ここ10年くらいは市民の皆さんに頑張っていたかかないといけない状況にあります。今、高齢者の方がたくさんおられて何かできることを見つけないという方もおられると思います。その中で、業としての仕事ではなく、地域に役立つポジションをどうやって自分で見つけていくかが大きな課題であると考えている。そういった人たちが簡単に見つかり、仕事ではなく週に1日だけ、何時間だけお店をあけるでもよいので、地域の利便に役立つようなことをやっていただけるような社会になれば、かなり脚光を浴びるオールドニュータウンができあがるのではないかと思います。</p> <p>起業も仕事で稼ぐというより、もう少し自分が楽しみながら市民の役に立てるような仕事の開発を今後やっていけたらと思っています。それが恐らくふるさと団地の再生というものの一つのキーとなってくると、これからどうやっていけるかを一生懸命考えているところです。</p> <p>ほんとに儲けなくていい仕事で、少し小遣いをとれたらいいということで、皆さんが頑張り過ぎずに、楽しんでいただけたら楽しい街になるのではないかと思います。</p>
会長	<p>単なる魅力的なまちではなく、ダメになりつつあるかもしれない中で、その中で、上手に将来のまちを作っていく工夫の中で、それ自体が魅力になるまちというお話だったと思います。</p>
委員	<p>個別のリノベーションではなく、長い目でまち全体をリノベーションしていこうというイメージかもしれません。その中に、住宅都市として発達した川西市の街の川西らしさや魅力をどのように作り変えていくのか、ピンチはチャンスなので、そういう時期に来ているということでしょうか。</p> <p>川西は黒川の本物の里山を持っているというところを、川西らしい、これだけ成熟した住宅都市でありながら、少し行くと黒川の本物の里山があるのは、川西でのライフスタイルを考えると、非常に恵まれた住宅環境の中で、利便性の高い生活を送りながら、週末に体験というか、ライフスタイルの中で、里山の体験することが非常に短い時間で行けて、本物が体験できるということを、是非川西のプロモーションの展開していくイメージとして、重要だと感じています。これは宝塚市や三田市とは違うすごい魅力だと思いますので、是非、シティプロモーションの中で強調してもらいたいと思います。</p>
会長	<p>素晴らしい住環境となによりも世界に誇る里山があるまちでもあるということです</p>

発言者	発言内容等
事務局	<p>ね。</p> <p>日本一と称される黒川地区をブラッシュアップして、もっと多くの方に知ってもらいたいと考え、模索、検討、実行しようとしているところです。黒川にはご存知のように木造校舎の公民館であるとか、ダリヤ園、里山そのもの、古民家などいいものがございます。これまでは十分に活かしてこれなかったということですが、今後はこれらを磨き上げるとともに、ネットワークして、黒川全体を川西市の財産として誇れるものにしていきたい。あまりたくさんの方が来るというイメージよりも、懐かしい日本の原風景を大事にして、本物の里山というところをアピールできればと、それを推進するための事業主体の立ち上げなども考えています。黒川が魅力となることで、黒川がある川西市といった、非常にいい街のイメージができればと思っております。そういうことで、川西に住みたいとか訪れたいとか、川西の物を買いたいとかいう気持ちが増えていくことを狙っていけたらと思っております。</p>
会長	<p>今日、基本目標の1から4までいろいろとご意見を伺いました。</p> <p>この実施状況報告書、何か言い忘れたことなどがありましたら、言っていただければと思います。</p>
委員	<p>いろいろ個別の施策の積み上げの報告はいただいているのですが、5か年計画で今は折り返し地点、それでKPIを見ますと26年から下がっている項目が非常に多いということで、ぜひ全体総括をお願いしたいと思います。今の延長線で良いのか、あるいは環境が非常に厳しくなってマイナス要件が今の施策をカバーできていないのか、そういう大きな目で見いただければと思いました。</p>
事務局	<p>いまご指摘いただいた点につきましては、当然必要なと理解しております。総合戦略ということだけに限りませんが、昨年できて、やっと1年経ったという状況ですので、なかなかいい結果になっていなくて反省しないといけないところがあるものの、31年までの計画という中で、内容を反省しながら施策展開できたらと考えております。そういう意味では、きちっとした意見をいただき、当然全体の総括をしながら進めていきたいと考えております。</p>
会長	<p>他にご意見等はございませんでしょうか。</p> <p>ないようでしたら、総合戦略全体に対するご意見については、これまでとさせていただきます。</p> <p>次に、議題の2点目「地方創生推進交付金等を活用した事業の実施状況報告」について移りたいと思います。これについては、国にも報告をしないといけないということもありますので、しっかりとご意見をいただければと思います。</p>
事務局	<p>事務局より概要説明をお願いします。</p> <p>次に、議題2「地方創生推進交付金等を活用した事業の実施状況報告」について、お手元の資料2に沿ってご説明させていただきます。</p> <p>資料2をご覧ください。</p> <p>こちらは先の議題1でご審議いただきました内容のうち、地方創生に関する交付金を活用した事業を抜粋して、とりまとめたものでございます。</p> <p>交付金には地方創生加速化交付金、地方創生推進交付金、結婚新生活支援助成補助金がございます、それぞれの実施内容を記載しております。</p> <p>こちらにつきましては、交付金を活用した事業ごとに実施状況とKPIの達成状況の内容を踏まえ、事務局案として、交付金活用事業がKPIの達成に有効であ</p>

発言者	発言内容等
会長	<p>ったかどうかについて記載しておりますが、第三者の視点からご意見をいただきたいと考えております。</p> <p>「有効か、有効でない」かの判断のほかに、いただいた意見を事務局で整理し、推進会議のコメントとして、報告書に記載いたします。</p> <p>説明は以上でございます。</p> <p>ただいまご案内いただいた、地方創生加速化交付金、地方創生推進交付金、結婚新生活支援助成補助金、それぞれ事業のことについてご意見をいただければと思います。</p>
委員	<p>市ではこの事業の現在の評価の案として、総合戦略の KPI 達成に有効であったと、全てそうなのですが、こういう評価をしておられる。こういうことでございます。</p> <p>2 ページ 1 つ目の指標に転入者数から観光客入れ込み数まで3つありますが、合わせて KPI 達成に有効であったと判定されているのは合っていますよね。</p> <p>やはり転入者数、最終的な人口を増やしたい、子どもの数を増やしたいという数の話しをこの計画でおっしゃっていた中、転入者数が減っているのに有効であったと判断をされた理由をお伺いしたいのと、この交付金の使い方のところで、新たな魅力創出と概要のところに記載がありますが、新たな魅力創出にかかるのがどこが回答になっているのか合わせてお聞きしたいです。</p>
事務局	<p>まず 1 点目、転入者数のところ。実数が減っているなかで KPI の達成が有効であったかというご質問です。</p> <p>こちらは単体で見ますと、先ほどご議論いただいたようにやはり転入者数というのが減っていて、その要因が今のところ把握できていません。</p> <p>ただ、指標2のシティプロモーションサイトのアクセス数、観光客入れ込み数を見ていきますと、一定の増加傾向にございますので、そういう観点から事務局として KPI の達成に有効であったということで、今回の交付金にかかる事業は効果があったと考えております。</p> <p>もう一点、概要にございます『新たな魅力の～』という部分ですが、こちらとしては、こちらの交付金にかかる事業として実施していましたが、支出内容の 2 点目、丸の 2 つ目でございます『旧加茂小学校・旧川西高等学校跡地の利活用基本構想策定支援業務委託料』と、ございます。こちらを具体的に申しますと、廃校になった高校の跡地を活用していこうということでございます。</p> <p>こちらの部分をとりまして、新たな魅力のスポットといいますか、発信拠点となるようなことを作って、市の発展につなげていこうといったことで掲げております。</p>
委員	<p>それはこれから稼働するということですね。わかりました。</p> <p>シンプルに聞くと、事業評価で「有効であった』以外の回答の仕方はないということですか。</p>
会長	<p>市の評価では、そうですけどね。</p> <p>だって人数がとても大きいなと思って。それ以外の回答がないのであれば、これ以上お伺いしても仕方ないので。</p>
会長 事務局	<p>そのとおりですね。</p> <p>今のご指摘ですけど、確かに国への報告の内容として評価が有効であったかなかったのかというだけです。どちらかを選ばなければいけない。</p> <p>我々とする、もちろん KPI の目標を設定した以上は、それを達成するように計画を立てています。達成に向かっていくことが、実際に効果があったということになります。</p>

発言者	発言内容等
委員	<p>ただ、食い止めることができたということも含めて、交付金があることによって施策展開ができたということがひとつの成果だと理解しております。</p> <p>そういう意味では、当然ご指摘いただいたように土地活用等については基本構想でまだ計画段階のものもございます。そういうことに活用できることに大きな意味があるのかなという判断も含めております。そういうかたちでご理解いただければと思います。</p> <p>シティプロモーションに係る事業は、非常に予算が高いですし、我々民間はもっと桁の違う金額でやっています。</p> <p>あまりメディアを増やすと効果が薄くなるんじゃないかと感じております。</p> <p>いろんな冊子とか見せていただくと、しっかり作られているものが多いのですが、今でもかなり手が広がっているのに、例えばで書いてあると思いますが、今更インスタとかに入っていくときに、そこにかかる企画費とか、ますます出稿数は減っていきますし。決して今の川西市さんの Facebook も悪くないと思っています。</p> <p>もう少しフォーカスしないと。せっかくいいものを作って考えられていても、企画を増やすより、どこかに絞り込んで発信された方がいいと思います。先程の黒川のこともありますし。何を誰にということを絞った方がいいと思います。</p> <p>緑を含めてとても素晴らしい街だと思っていますので、魅力を絞ってどんどん発信していただきたいと思います。</p>
会長	<p>情報発信あるいはそのためのメディアを含めて、きっちりと目標を定めて絞り込んで効果的に進めて頂きたいということでした。</p>
委員	<p>結婚新生活支援助成制度についてなのですが、28年度の実績値のところの調整中というのはどういう意味でしょうか。</p>
事務局	<p>こちらは兵庫県にこちらから毎月報告している婚姻件数がございまして、県が人口動態調査というもので年間取りまとめているものがございまして、そちらで年間の婚姻件数が出てきますので、そちらの報告を現在待っている状況です。</p>
委員	<p>『調整中』とあるから何か調整をしているのかと思いました。</p>
会長	<p>調査結果が出てくるのを待っているということですね。</p>
事務局	<p>今のところ、増えているのですか。</p> <p>月々の市民課へ提出されている婚姻届の件数が実際に川西市におられる方でなくて、戸籍だけある方とかもいらっしゃいます。その状況を見ておきますと、ほぼ横ばいで、ここ数年の状況としましても少し減っている年もあれば増えている年もあって、平均すれば横ばいのような状況です。</p>
会長 委員	<p>それに近い数字がでてくるのであろうと思います。</p> <p>詳しくわかっているわけではないのですが、この創生戦略も結局のところ、戦略を作っていくに交付金をとることというのが勝負だったのかなと思っていて、これ以外に、本当は狙っていたのに取れなかったものもあるのか、この中に注力する何かがあるのか。これから何か考えた時に、実はこの分野がやりたかったのに取り損ねたみたいなのがあれば教えて欲しいです。</p>
事務局	<p>地方創生交付金については、先行交付金から始まり、28年度に推進交付金と、制度が固まりました。ただ、ソフト事業ということで基本的に限定をされていまして、ハードが基本的にはだめということがあります。給付事業も駄目ということで、わりと企画をしていく時に必要な経費に絞られています。そういうことがあって、我々として総合戦略を策定して新たな取組みとしてやっていったものは、各市も</p>

発言者	発言内容等
会長	<p>わりと似たところもありますが、どうしても給付的な事業が多かったということがあります。そうすると、とりたくてもとれないということがありました。</p> <p>限定をされたために、絞られてしまったということはございます。本当に必要なことにこれを取っていきたいという意味では、なかなか国の考えているレベルの充てるべき交付金と我々が進めていきたい事業費、必要経費、給付的なもの含めてそういうものとは乖離がありました。</p> <p>シティプロモーションについて言えば、先ほどの委員のみなさん方からのご質問にありましたが、本当にアクセス件数が増えたからシティプロモーションがうまくいっているのかという話もありました。</p> <p>この辺りは少し考えなければいけないかもしれません。本当に有効なシティプロモーションとはなんなのかということをしっかり考えていただければと思います。</p> <p>それから、推進交付金のところでいえば、新たな魅力創造というところで、こういう定住人口のところ大きなテーマとして挙がってきているわけですが、交流の方はなんとなくありそうかな、増えてきそうかなというのがありますが、定住については、これをどうみるかというのは委員からも意見がありましたので、考えていただければと思います。</p> <p>それから若者・女性を中心とした新たな雇用の創出、産業活性化ということについては、この推進交付金事業自体は、若者の就労者数について一定 KPI は達成、あるいは女性の起業数、在宅の就労数は若干あります。もう一方では、本当にこれで目標値が達成できるのかというのは、なかなかこれは実質の中身を考えた時には先ほど確認がありました、小売りが弱ってきている、そして地域の中での人口密度が薄くなってきている中で、これからどういうふうに支えていくのか。そうした観点で組み直さないといけないかもしれないという意見もあったと思います。</p> <p>このあたり、私どものここでの推進会議でのご意見の大きな流れだったのかもしれない。</p> <p>それから結婚新生活支援、これにつきましても、今のところは必ずしもこの事業そのものが実績をあげていることは確かになりますが、一方ではこれが大きく市全体の結婚を望んでおられる方の福音となるような大きな事業になっているか、つながっているかということについては、やはりなかなかそこまで広がっていないということ。PR が下手だというお話しもあったかもしれません。今後、呼び水がどういうふうに広がっていくかというのを結婚新生活の支援でもしっかり考えていかないといけないという状況にきているだろうと、これもそうしたご意見をいただいたかと思えます。</p>
委員	<p>川西市が日本中・世界中の人に注目される観光地でないことはわかっているんですが。そういう場所だからこそ、本当はいいプロモーションの方法なので、なんとかそれを上手く活用していただきたいと思っていることがあるのが、海外からのインバウンドの増加を見ていると、リピーターの比率でいくと、関西がものすごく多い傾向にあります。1 回目は、皆さんゴールデンルートと呼ばれている東京から富士山に行き、京都、大阪と行くパターンらしいのですが。2 回目以降は、かなり近畿中心で観光される方が多いです。その中で、とても有名な事例ですが、しまなみ海道がサイクリングの海外の方たちだけで観光客が 10 倍以上に増えたとか、最近ですと『君の名は』が中国で大ヒットしたことで岐阜県飛騨市にアジアの方たちが、外国人向けのホテルではなく、あるがままの飛騨に惹かれて何万人と訪れるような現象が実際に起きています。そういう方たちは、昔ながらの日本にとっても惹</p>

発言者	発言内容等
	<p>かかれていらして、それにアニメやコンピューターや日本の技術というものの両方がよくて、しかも安全とされていて、綺麗ということも含めて、何回も訪れたい国と必ず言うだけでいい。そういう方たちの中から、せつかく里山があるのだからという話しが先ほど出ましたが、ロコミで広がっていくようないいものが川西で今後でてくれば、息の長いインバウンドというのも、まだまだ開発を今後していく可能性はあると私は思っています。</p> <p>こういう会議でなかなかすぐにひらめくものではないかもしれませんが、例えばツアーを定期的にやって、実際に海外の方に体験していただいて、5年連続アンケートを行ってみて、どこがいいと感じたかと言うヒアリングを行ってみてある程度ターゲットを決めてみるとか、今後できることはまだまだあると思います。ぜひそういうことも含めて考えていただきたいと思います。</p> <p>人口減少は仕方ないと思いますが、人手不足というのもすごく日本が抱えている悩みの中で、起業の話があつて、自宅でとか趣味の延長という話しもありましたけども、逆にそういうことをどんどん激励しているからこそなかなか会社を作るとかお店をオープンするというような方が、特に女性で増えていかないという中で、目に見えるような、商工会議所にいっぱい会社が入るみたいな状況はこれからは厳しいのかなと思いますので、この地域らしいものを諦めずに、お願いになりますが、追求していただきたいと思います。</p>
会長	<p>自然にしても、暮らし方にしても、川西らしさ、いいところはたくさんあるけれど、本当にそれがよくわかっているか、そしてそれがたくさんの人に知っていただいているか、またそれをブラッシュアップすることができているか、こういう問いかけもあったかと思えます。</p> <p>その中で暮らしている方々が生き生きと暮らしていければ、人口減少も怖くない“かも”しれないということだろうと思います。</p>
委員	<p>先ほどシニアの方々も金儲けとはいかなくても小遣い稼ぎができる何かといったときに、川西はすごい自治会費を集めただけですごい額になるんですね。密集して住んでいるので。</p> <p>川西の特徴は少し都心から外れている。だから何かあった時は、そこで下に逃げていくのは無理なような気がして。そこである程度幸せに暮らさないといけないなという感じがするんです。</p> <p>自治会費をもとにした商売があるんじゃないかなと。その地域の中で、公民館だったり公共的な施設をある程度商売してもいいような緩和・運用を図っていくとか、空き家の活用を活性化させるとかして、皆で集めているお金を使った小さな事業みたいなことが十分にできて、そういうことを頑張っていると、何か起こった時に自立できるというか頑張っていけるのじゃないか、ネットワークにもつながるのではないかな。それから高齢化社会がやってきて、お互いに助け合わないといけなときのネットワークにもつながると思って。皆が少しずつ出ただけで川西の場合自治会がすごい額になると思うので、なにかそんな事業もあるんじゃないかなと思います。</p>
会長	<p>その他いかがでしょうか。全体を通じてでも結構ですが、おおよそよろしいでしょうか。</p> <p>本日の議事、あんばいええまちかわにし創生総合戦略実施状況報告書(案)についてご意見をいただきました、特にその中でも地方創生交付金を活用した実施状況についてもいくつかご意見をいただきました。</p>

発言者	発言内容等
事務局	<p>議事でもその他がございますが、委員の皆様からご発言があれば、いただきたいと思えます。</p> <p>いままでの関連のことも結構ですし、地方創生全般に関してでも結構ですし、今後の川西についてでも結構です。なにかこの場でお話されてきたいことがございましたら、ご発言ください。よろしいでしょうか。</p> <p>今日は、活発にいろいろご意見いただきました。議事のところは、これくらいにいたしまして、その他というところで、事務局からもなにかございませんか。</p> <p>恐れ入ります、事務局より1点、ご連絡がございます。</p> <p>皆様の委員の任期についてでございますが、皆様の任期は平成29年7月27日までとなっております。</p> <p>また、総合戦略の進行管理は今後も引き続き行っていく必要がございますことから、皆様に引き続き、委員にご就任いただきたいと考えております。よろしくお願い申し上げます。</p> <p>つきましては、お手元に封筒をお配りしておりますが、その中に就任関係の書類を同封しておりますので、お手数をお掛けしますが、ご返送くださいますようお願いいたします。</p>
会長	<p>以上でございます。</p> <p>私どもの任期が7月で切れると言うことで、引き続き委員にご就任いただきたいというご依頼がございました。</p> <p>いろいろご都合もあるかと思いますが、是非、ご協力いただき、こうした元気のいい議論の場をつくれればと考えております。</p> <p>他に何かご質問等がございませんようでしたら、本日の議事は、以上といたしたく存じますが、いかがでしょうか。</p> <p>それでは、本日の議事は以上とさせていただきます、最初に事務局から説明がありましたが、本推進会議としての意見の内容につきましては、事務局と私の方で、今日いただきましたさまざまなものを調整をさせていただきます、一旦、作成をさせていただきますと思います。その後、委員の皆様には、ご確認いただくため、送付させていただきますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>なお、最終的には私と事務局で調整を行い、この案を確定させたいと考えております。この点、恐縮ですが、ご了承の程いただければと思います、よろしくお願いいたします。よろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">(異議なしの声)</p>
会長	<p>それでは、そのような進め方で、今後またもう一度皆様にご面倒をおかけしますが、よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>それでは、事務局にマイクをお返しいたします。</p> <p>皆様、長時間、どうもありがとうございました。</p> <p>それでは、本日の会議はこれで終了とさせていただきます。</p> <p>なお、本日お車でお越しの方は、挙手願いますでしょうか。</p> <p>ありがとうございます。駐車券を配付させていただきます。しばらくお待ちください。</p> <p>それでは、本日の会議は、これで終了させていただきます。誠にありがとうございました。</p>